

キャラクター名 プレイヤー名  
 【危険信号（シグナルイエロー）】紫木一姫

種族	バジリスク	種族特徴	邪視と瞳石、猛毒の血液、魔物化、弱点(水氷+3)		
生まれ	拳闘士	性別	♀	年齢	17
冒険者Lv	10	経歴	罪を犯して追放された		
経験点	1640		幼少時、身体能力が著しく劣っていた 幼少時の記憶がない		

技	9	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	10	13		32 + 1	5				
体	13	敏捷度	5	16		30 + 1	5	マギテック	4		
		筋力	5	3		21	3	スカウト	9		
		生命力	8	4		25	4	エンハンサー	10		
心	11	知力	5	8		24	4				
		精神力	6	7		24	4				

戦闘特技			
追加攻撃	220 p	魔力撃強化	IB32 p
投げ攻撃	225 p		p
カウンター	2120p		p
鎧貫き	IB39 p		p
トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123 p		p
影走り	2120 p		p
両手利き	223 p		p
武器習熟A/格闘	IB31 p		p
二刀流	IB30 p		p
魔力撃	IB39 p		p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
ドレイク語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○
妖魔語	○	
バジリスク語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術		
キャッツアイ		
ガゼルフット		
マッスルベアー		
ストロングブラッド		
ケンタウロスレッグ		
デーモンフィンガー		
ジャイアントアーム		
スフィンクスノレッジ		
リカバリィ		
フェンリルバイト		
パラライズミスト		

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラップラー	9	14	14	12
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	アラミドコート		10+5	+1	2
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	グラップラー		合計値	15	3

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
カーボンワイヤー <small>グラップラー専用、肉付強化、デュー・ハードノック、オナーメイト付、魔動機連動、イグナイト加工、動物の糞加工</small>	1H	8	3	2d+ 17	10	15	18										
ケブラーワイヤー <small>グラップラー専用、肉付強化、デュー・ハードノック、オナーメイト付、魔動機連動、イグナイト加工、動物の糞加工</small>	1H	8	3	2d+ 17	10	15	18										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	36 m	108 m

回避	防護点
2d+ 15	3

HP
55

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	4	8			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 0/X	2d+ 14

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 14	2d+ 14

MP
36

装備品	説明
頭	
耳 数多の地獄耳飾り	+名誉点50
顔 マギスフィア小	OPターゲットサイトMP-1
首 背水のネックレス	
背中 サーマルマント	
右手 イアナの黄金のフルセット	+名誉点50
腰 ブラックベルト	半額
足 韋駄天ブーツ	
その他 巧みの指輪	

装備品	説明
ポーションインジェクター	スカーレットポーション
左手 俊足の指輪	

— その他メモ —

4[4]+6+5[2,3]+5[1,4]+8[4,4]+5[5]+6[6]  
 幼少時に残っている記憶と言えば、かつて助けてくれた「人類最強」と技術を教えてくれた「病蜘蛛（ジグザグ）」だけ。生まれも知らない。故に自分がバジリスクであることすら知らない。

「病蜘蛛（ジグザグ）」と一姫はカイン・ガラにある澄百合学園（通称：クビツリハイスクール）の教師と生徒にそれぞれなった。その学園の正体は完全に閉鎖された環境で、成長したらリオスに送り出される傭兵育成学校だった。

彼女は外の世界、一般的な生活を夢見た。しかし、学園は警備が張り巡らされ、常に監視が行き渡っている。そんな状況で彼女が起こした行動は…学園長、教師、生徒、全ての殺戮だった。そこにはもちろん「病蜘蛛（ジグザグ）」も含まれていた。ほぼ全ての人間を殺し、ようやく開放されると思った時、かつて彼女を救った「人類最強」が目の前に現れた。必死に交戦するも「人類最強」の体を張った説得に破れ、一人学園を去る。

自動失敗  
チェック  
□□□□⑤  
□□□□⑩  
□□□□⑱  
□□□□⑳  
□□□□㉕  
□□□□㉙  
□□□□㉚

